

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		スーパー（予算担当）	・年末販売の福袋は、少し値段の高いものでも売行きが好調である。また、本格的な寒さも遅ればせながら期待できる。
		観光名所（職員）	・建物の改修工事が終わり、入場者が今後もっと増えてくる。
	変わらない	商店街（代表者）	・歳末なので活気が必要だが、今のところ全然活気がない。
		商店街（代表者）	・商店街の閉店した大型店2店舗の動向もまだ決まらず、それにより、かなり来客数が減っている。本当に明るい話題が全くない。郊外店へますます流れて、中心商店街の地盤沈下が来年もひどくなる。
		商店街（代表者）	・競合店の出店で競争は激化している。自店舗の差別化も打ち出すが、見通しとしては現状維持である。
		百貨店（営業担当）	・ブランド商品群は好調に推移したが、その他のファッション関連商品は前年割れで、秋物・冬物商品の動きが鈍い。来客数増加によるにぎわいは見られるが購入に結び付きにくい。
		スーパー（店長）	・個人の所得が上昇しないので、消費が上向かない。
		コンビニ（エリア担当）	・コンビニ業界は飽和状態である。物も満ち足りており、小売面から景気が上向く要素はない。来客数、客単価共に低下傾向にある。
		衣料品専門店（経営者）	・来月はよいよバーゲン月となる。これまでが悪かったせいで商品は充実しているの、売上だけはある程度見込める。
		衣料品専門店（経営者）	・冬のボーナスが前年を上回る企業が多く、客単価アップや売上増を期待しているが、相変わらず単品買いが多くセット率が上がらない。所得の増加が消費に跳ね返っているという実感が少ない。
		家電量販店（営業担当）	・新製品の予定もあり、全体的に落ち着いてくるが、前年並みへの取り戻しにとどまる。
		乗用車販売店（従業員）	・悪いまま変わらない。周りで景気の良い話は聞かない。
		乗用車販売店（営業担当）	・10月・12月の新型車の発売で、新型効果がみられないことから、春の需要期もあまり期待できない。
		乗用車販売店（管理担当）	・客に、消費に対する警戒感がある。
		住関連専門店（経営者）	・販売量が期待しているほど伸びない。
		一般レストラン（経営者）	・同業の店舗が増え、また飲酒運転の取締りが厳しくなり、宴会の機会が減少する。
		観光型旅館（経営者）	・来年の1～3月あたりの宿泊の予約状況はあまり良くない。宴会・会食等は良い状況にあるが、旅行者の数が伸びない状況で、来年の春先は期待できない。
		タクシー運転手	・12か月営業して対前年比等もあまり良くない。客の話からも、良くなる兆候がない。
		通信会社（支店長）	・番号ポータビリティ導入以降、大きな動きは見られない。
住宅販売会社（従業員）		・住宅ローン減税制度・住宅ローン金利の動向に大きな動きがなく、客はさほど焦っていない。現状のまま、あまり変わらない。	
やや悪くなる	スーパー（財務担当）	・暖冬・ノロウイルス・野菜の低価格等、外部要因に大きく影響を受け売上は大幅に減少する見込みで、特にノロウイルス問題は当分続く。	
	その他専門店 [ C D ] （店員）	・今後の商品の発売状況からすれば、やや悲観的な推測をせざるを得ない。	
	都市型ホテル（経営者）	・大河ドラマ効果が、12月の番組終了と共に既になくなっており、客は減少する。	
悪くなる	設計事務所（職員）	・仕事量の漸減傾向は変わらない。受注競争も激しい。	
	衣料品専門店（経営者）	・原油高による材料費等の高騰により商品価格が上がっている。先行きの不安感（消費税アップ等）により購買を控えている。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（従業員）	・新製品が、2月末・3月に導入されるので、今月よりは良くなる。
		輸送業（支店長）	・複数の案件があり、まとまりそうだ。

	通信業（営業担当）	・大型スーパーの経営層・マネージャーとの会話の中で、冬物商品、特に幅広い年齢層向けの女性用ブーツ、男性のコートの売行きが、昨年と大きく異なり、新年商戦に向けて期待ができるとの声を聞く。	
	通信業（支店長）	・番号ポータビリティの顧客獲得競争の影響も減少し、契約数も増加する。	
変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・建設用クレーンの総需要が前年を上回る状況が続いている。政府投資依存が高い北海道・東北においても、都市部ではクレーン稼働が多忙となってきた。生産能力が追いつかないため、供給量が総需要となる状況は当面変わりそうに無い。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・期末に照準を合わせた受注が多く、1～2月までこのまま推移する。なお、07年9月より新長期排ガス規制が実施されることで新年度より若干買い控え等の動きが出てくる。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・3か月以降先の受注残も持っているが、好況の電子材料業界等も、設備投資はするが単価的には非常に厳しく、採算が合いにくい。特定の企業に集中して設備投資がなされているため、競争が激しく、厳しい。	
	建設業（総務担当）	・中規模の設備投資の引き合いが数件来ており、獲得できる可能性は高いが、収益面では依然厳しい。	
	不動産業（経営者）	・住宅ローンの利上げ、あるいは金利の引上げ、消費税の導入予想などから個人の住宅の買い意欲が少し鈍る。	
	広告代理店（経営者）	・郊外の大型ショッピングセンターオープンに伴う販促の話もあるが、多くの得意先の広告予算は低調で、全体としては変わらない。	
	公認会計士	・設備投資も考慮中であったり、将来の金利動向に敏感になっている点、あるいは収入が伸びていない点などを総合的に考えると、景気は停滞していると判断せざるを得ない。	
	やや悪くなる	-	
	悪くなる	-	
雇用 関連	やや良くなる	-	
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人頻りに出している人材不足企業は、今後、ネット等の違う環境で求人をしないと、従来の求人誌や誌面では、人材を確保できなくなっている。ネット求人ならUターン等も見込めるので、今後好転していく。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・地方の人材市場への期待感を感じることができると、展望は明るい。
		民間職業紹介機関（所長）	・製造業、サ・ビス業を中心に人手不足感があり、良い人材であれば採用したいという企業が増加している。一方、土木関係は公共工事が減っており、余剰人員を抱えている企業もある。全般的には、景気は上向きの状態にある。
変わらない	職業安定所（職員）	・新規求人数については、増加傾向が続くものの、正規労働者の求人については増加する要因が見当たらず、現状とあまり変わらない。	
	学校〔大学〕（就職担当）	・採用活動はほぼ収束状態であり、現在は補充的な採用が若干ある程度である。	
やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・香川県では、販売職と営業職、特に販売職の求人が多い。一方で求職者は少なく、マッチングできていない。一方、事務処理系の派遣は減っている。年度末を迎えるにあたって、本来ならば動きが活発になるが、少し下振れしそうだ。	
悪くなる	職業安定所（職員）	・求職者は増加しているが、求人数と採用者数は減っている。また、求職者も55歳以上の年齢層だけが増加し、43歳以下は減少している。	